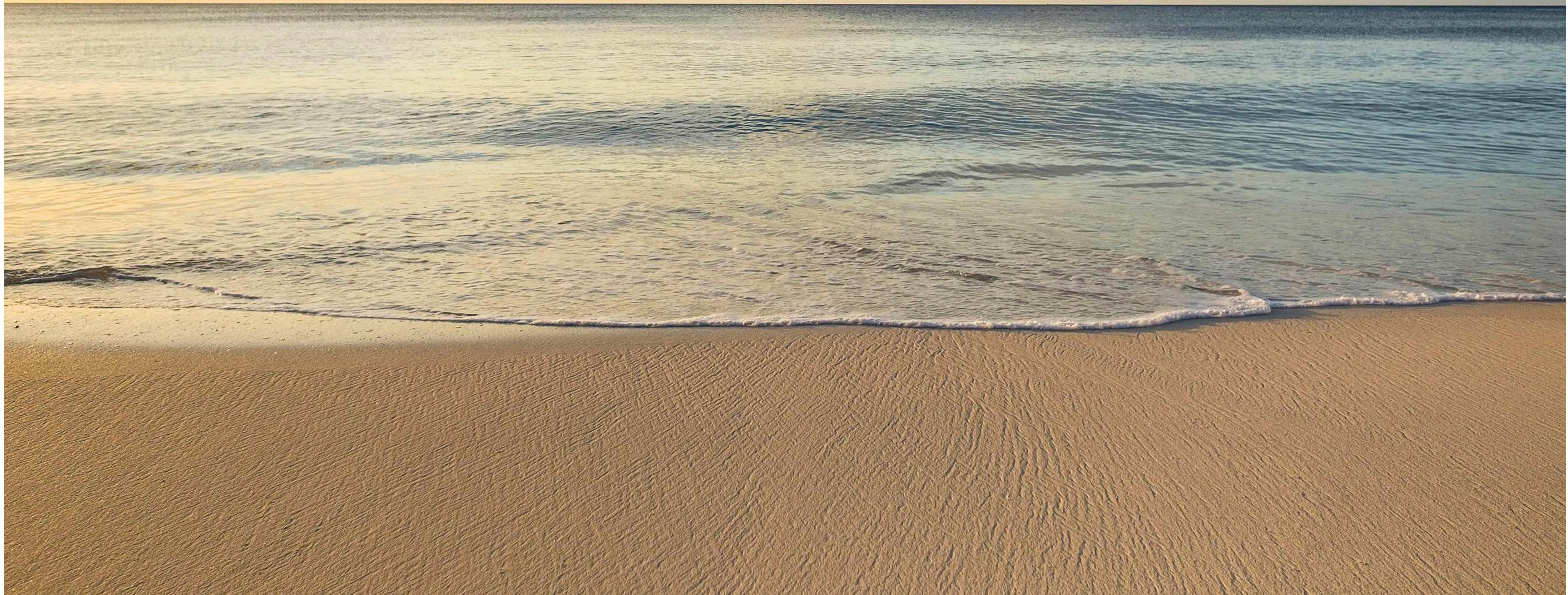


# 関連のイベント紹介



參加型・聽講型

# 「外部連携 SEEDSオプション・イベント」 3月以降

※イベントの内容や開催時期は変更となることがあります

- 「半導体をテーマにしたセミナー・ワークショップ」

【3月27日（金）】

東京エレクトロン(株)との連携プログラム

参加者募集中！

- ナレッジイノベーションアワード入賞者と  
「みんなでディスカッション！」

【3月21日（土）】

- 「防災・減災をテーマにしたセミナー・ワークショップ」

東京海上日動(株)・日本工営(株)との連携プログラム

- 「化学関連のテーマでのセミナー・ワークショップ」

ダイセル(株)との連携プログラム

学生向け案内

# 第48回シスメックス学術セミナー

# 免疫治療の 最前線

2026  
**5.30 Sat. 10:00-11:30**

※午後は医療従事者向けの内容になります。  
詳細は裏面をご覧ください。

ノーベル賞で  
注目の免疫!

～新企画！最先端の医療をより分かりやすく～

シスメックス学術セミナーは、医療への貢献を目的としており、最先端の医療情報を発信しています。

これまで医療従事者が対象でしたが、医療・医学に関心のある学生の皆さんにもわかりやすいプログラムをご用意しました。

第一線で活躍する研究者から直接聞くことができる貴重な機会です！ぜひ会場で、最新の知見に触れてみてください。



参加無料



参加申込・  
詳細

## 第48回シスメックス学術セミナー

# 免疫治療の最前線

Basic Seminar —新企画! 最新医療をより分かりやすく!

### 基調講演 免疫の病気、アレルギーの話

熊ノ郷 淳 先生(大阪大学総長)

### 講演 皮膚からひも解くアトピー性皮膚炎の謎と新しい治療法

桝島 健治 先生(京都大学大学院医学研究科皮膚科学講座教授)

### Advanced Seminar

### 基調講演 免疫治療のOverview

熊ノ郷 淳 先生(大阪大学総長)

### 第一講演 自己免疫疾患の治療の最前線

田中 良哉 先生(産業医科大学医学部分子標的治療内科学特別講座特別教授)

### 第二講演 がん免疫療法の最前線

富樫 庸介 先生(岡山大学学術研究院医歯薬学域(医学系)腫瘍微小環境学分野教授)

### 第三講演 遺伝子改変免疫細胞による次世代がん治療の展望

玉田 耕治 先生(山口大学細胞デザイン医科学研究所所長)

座長 熊ノ郷 淳 先生(大阪大学総長)



## 第48回シスメックス学術セミナーの開催にあたって —— 企画意図

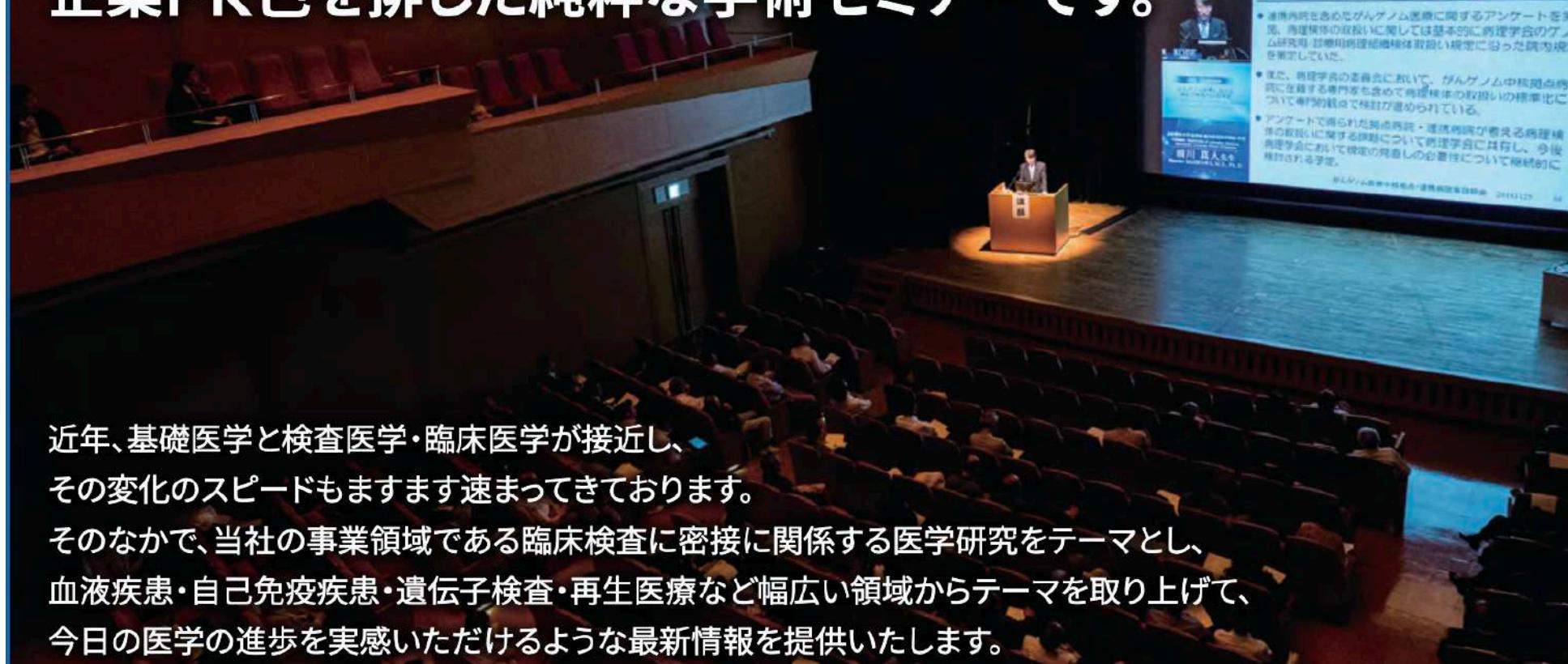
企画担当(座長)/大阪大学総長

熊ノ郷 淳 先生

熊ノ郷先生に、各演題の注目ポイントを解説いただきました。ぜひご視聴ください。



シスメックス学術セミナーは、医療と医学への貢献を目的とする、企業PR色を排した純粹な学術セミナーです。



近年、基礎医学と検査医学・臨床医学が接近し、その変化のスピードもますます速まってきております。

そのなかで、当社の事業領域である臨床検査に密接に関係する医学研究をテーマとし、血液疾患・自己免疫疾患・遺伝子検査・再生医療など幅広い領域からテーマを取り上げ、今日の医学の進歩を実感いただけるような最新情報を提供いたします。

免疫調節薬の代表格である抗体医薬や生物学的製剤は、免疫調節を目的とした分子標的薬として21世紀に登場しました。当初は関節リウマチをはじめとする自己免疫疾患の治療に用いられていましたが、その後、がん免疫療法や喘息をはじめとするアレルギー疾患治療へと応用が広がっています。現在、世界の医薬品売上の5~6割を免疫調節薬が占めている状況です。

さらに、血液がんの分野においては、抗体遺伝子を組み込んだCAR-T細胞療法や、2つの特異性を持つ二重特異性抗体(Bispecific Antibody: BsAb)などが登場し、免疫調節・免疫制御はさまざまな疾患治療のアンカードラッグとして定着しつつあります。今後も、免疫調節・免疫制御を切り口とした新たな薬剤の開発が次々と予想されており、診療科や疾患、分野の垣根を越えて、最新の知見を得ることの重要性がますます高まっています。

第42回シスメックス学術セミナー  
動き始めたがんゲノム医療—現状と展望—



# SDGsの「学び」が世界を変える。

社会課題を「自分ごと」にする教育と実践

2025年12月4日[木] 13:00-17:00  
(開場 12:30)

[場所] グランキューブ大阪12階特別会議場 <https://www.gco.co.jp/visitor/access/>  
※教育関係者はオンライン参加可。

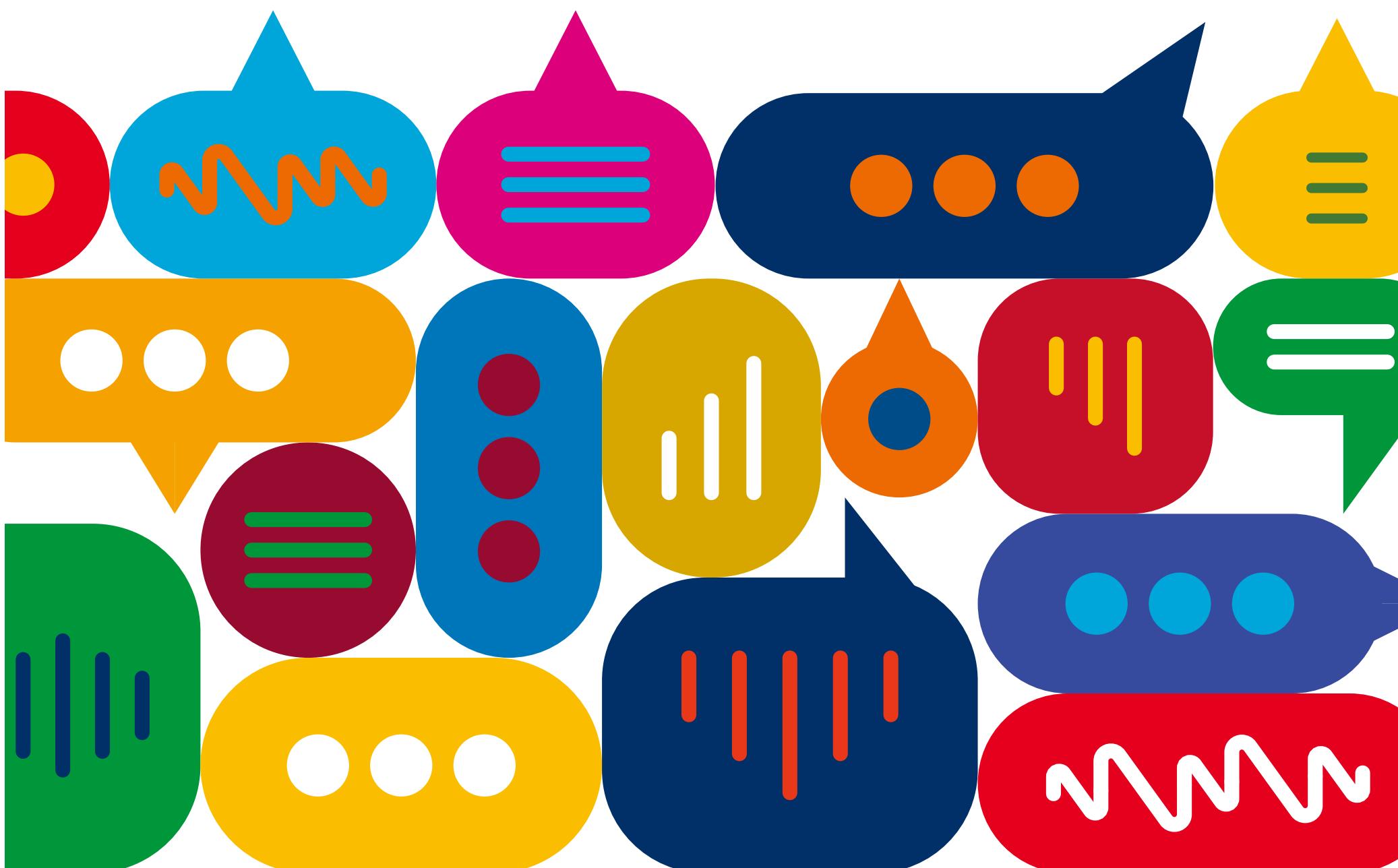
[参加費] 無料 [会場定員] 200名(先着申込順)

[主催] 大阪大学全学教育推進機構OU-SDGsプログラム

[共催] 大阪大学社会ソリューションイニシアチブ

## 対象者

- 教職員・学生
- 産学官関係者 ●一般の方



持続可能な社会の実現に資する人材を育成する教育プログラムです。  
SDGsの実現へ、そしてその「先」の未来へ向け、  
サステナビリティ教育について考えます。

## OU-SDGsプログラムシンポジウム

### プログラム(予定)

- 13:00 ●開会挨拶 田中 敏宏(大阪大学 統括理事・副学長)  
13:05 ●大学講演 「“自分の未来”デザイン学」  
田中 敏宏(大阪大学)  
●企業講演 「サステナブルな社会の実現に向けて今、人材に求められるものとは?」  
川那 賀一(楽天グループ株式会社)  
「淡路島を舞台に実現する地方創生とSDGs」  
福田 翔(株式会社パソナグループ)  
●学生講演 「知ることから、行動へ:OU-SDGsプログラムでの学びを自分ごとに」  
中森 帆南(大阪大学人間科学部4年)  
「体験学習から得た学び:SDGsを自分ごととして考える」  
グエン・ファン・リー(大阪大学経済学部2年)  
14:40 ●パネルディスカッション  
●大阪大学の学生による授業紹介・活動紹介  
16:15 ●特別講演 「より良い未来のために共に学び、互いから学ぶ—the SDG Campus」  
ゾンケ・クヌツエン(ドイツ・ハンブルク工科大学) 日英同時通訳あり ライブ配信  
16:55 ●閉会挨拶 堂目 卓生(大阪大学社会ソリューションイニシアチブ長)

### 登壇者紹介



#### 特別講演者

ゾンケ・クヌツエン Sönke Knutzen

ドイツ・ハンブルク工科大学教授。2012-19年同  
大学教育担当副学長。主導した大規模ICT教育  
プロジェクトは「SDG Campus」や「Hamburg  
Open Online University」など多数。専門は技術  
教育学。2025年春に日本の国連大学や大阪大学  
を訪問し、交流を進めている。



SDG Campus

## 参加申込

SDGsの17のゴール

課題であり、気候変動対策、飢餓問題、教育を受ける権利など、  
幅広い分野での目標を掲げています。ドイツの著名大学から  
構成されるコンソーシアムが運営する「SDG Campus」とは、加盟  
大学の学生すべてがオンライン講座の形でSDGsの専門知を  
学べる学習プラットフォームです。



#### 企業講演者・パネリスト

楽天グループ株式会社  
サステナビリティ推進部 ソーシャルインパクト課 サステナビリティ推進グループ  
マネージャー

川那 賀一 Kawana, Yoshikazu  
岐阜市教育委員会にてSTEAM教育・GIGAスクール  
等の先端教育政策を担当。その後民間企業にてCSR  
や地域創生事業などを経験したのち2022年より現職。  
サステナブルな社会の実現に向け、多様なステークホル  
ダーとのコラボレーションやソーシャルインパクト創出事  
業をリード。公務員アワード2019受賞。



#### 企業講演者

株式会社パソナ 淡路未来構想部長  
福田 翔 Fukuda, Sho

東京都出身。2007年に株式会社パソナに入社後、  
主に金融機関を対象としたHRサービスの法人営業に  
従事。2020年、内閣府へ出向し、男女共同参画局にて  
政策調査員を務める。2023年より現職。グローバルな  
視点での淡路島の活性化を目指し、国内外大学や国際  
機関との連携強化に従事。



#### 大学講演者

大阪大学 統括理事・副学長  
田中 敏宏 Tanaka, Toshihiro

兵庫県西宮市出身。1980年大阪大学工学部卒業、  
1985年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程を  
修了し、同年大阪大学助手になり、准教授、教授、工学  
研究科長・工学部長を経て、2019年より現職を務め、  
教育環境の整備をミッションとしています。専門は高温材  
料プロセス工学ですが、ここでは「大学で学ぶとは?」を  
テーマにしたお話をします。



#### パネリスト

大阪大学総長補佐  
社会ソリューションイニシアチブ長  
堂目 卓生  
株式会社パソナグループ 執行役員  
Awaji Youth Federation (AYF) 理事  
Pasona Asia Co., Ltd 代表取締役社長  
Pasona Education Co., Ltd 取締役会長  
青田 朱実

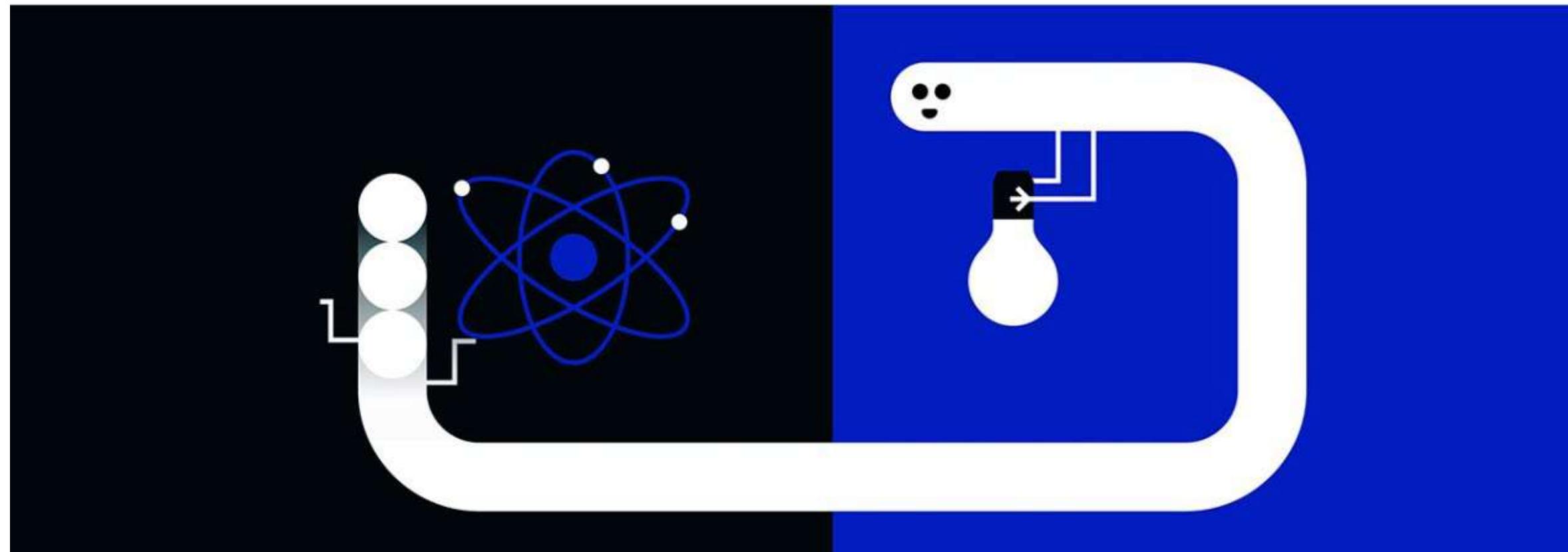




# ～量子科学へのいざない～

中高校生向けセミナー

(第15回STEAM人材育成研究会)



Attribute ©Johan Jarnestad/The Royal Swedish Academy of Sciences

中高校生の皆様へ

2025年のノーベル物理学賞は、量子力学が原子などの微視的世界にとどまらず、チップ上の巨視的な人工構造でも成り立つことを実験で示した3人の科学者に贈られました。量子力学は完成された理論ですが、その応用として量子センサー、量子暗号通信、量子コンピュータなどの新しい技術が生まれています。これらの分野をさらに発展し、次世代の科学技術を支えるのは、世界中の君たち世代の役割です。今回、ご講演いただく門脇様は、産業技術総合研究所(産総研)のG-QuAT(\*)の特定フェローで(株)デンソーでも研究者としてご活躍の気鋭の量子・AI分野の科学者です。最先端の量子科学の世界に飛び込んでみましょう。

(\*) G-QuAT：量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター



門脇正史 氏



参加申込

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_JeH1QXidTKWSnTBp46ugaw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_JeH1QXidTKWSnTBp46ugaw)

**Sat  
2025  
12/13  
14:00~15:15**

**オンライン**

**産総研、G-QuAT紹介**  
**吉川敏之** 国立研究開発法人産業技術総合研究所 イノベーション人材部 審議役

**「中高生のための量子コンピュータ」**  
**門脇正史** 国立研究開発法人産業技術総合研究所 G-QuAT 特定フェロー

**質疑**

**司会・進行**  
**矢野満智子** 東京都立国立高等学校 理科(物理)主任教諭

## お申し込み方法

QRコード、または以下リンクからお申込みください。  
[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_JeH1QXidTKWSnTBp46ugaw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_JeH1QXidTKWSnTBp46ugaw)



【問合先】 [info@plij.or.jp](mailto:info@plij.or.jp)  
一社)学びのイノベーション・プラットフォーム事務局

※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用  
は固くお断りいたします。

主 催

一般社団法人 学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

協 力

国立研究開発法人 産業技術総合研究所



# 中高生のための産業探訪シリーズ“化学の力”

@昭和学院秀英中学校・高等学校(千葉市幕張)

化学は、高校の理科で学ぶ身近な存在ですが、今回のテーマは、勉強としての化学が実際にどのように我々の生活や社会に貢献しているのかを共有するプログラムです。化学の応用領域はとても広く、環境問題やエネルギー問題への対応、新しい材料の開発、医療の発展など幅広い分野で化学の力が生かされています。今回はその中でも、一般情報では目にすることが少ない(けど、とても重要な)化学の力の一端を高校生の皆さんに紹介したいと思います。  
※学校関係者の皆様へ:生徒さんへの周知をよろしくお願ひいたします。学校のカリキュラムとして、学校行事として、あるいはクラブ活動の一環として取り上げていただき、生徒さんが集団でご視聴いただくことを願っております。

13:30-14:10

- 開会挨拶 PLIJ代表者
- 司会 開催校生徒

## <第一部>基調講演

- 「大学で化学を学ぶとは」  
西野 孝／神戸大学名誉教授/客員教授・高分子学会会長(30分)

14:10-14:55

## <第二部>化学の力の多様な展開

- 「半導体は化学の力で作る」  
喜多悠二／住友化学(15分)
- 「食を豊かにする化学の力」  
松浦 傳史／三菱ケミカル(15分)
- 「デジタル技術が解き明かす化学の力」  
樹神 弘也／三菱ケミカル(15分)

14:55-15:30

## <第三部>パネルディスカッション

- ファシリテーター 葛城 俊哉／三菱ケミカル取締役・常務執行役員・CTO
- パネルディスカッション 福田 加奈子／住友化学常務執行役員  
開催校及び集団視聴校参加高校生vs全登壇者との質疑  
開催校教員代表

### お申込み方法

QRコード、または以下リンクから、お申込みください。  
参加費無料です。  
[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_Oxieo90bSt2R\\_VZz8IkF-Q](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Oxieo90bSt2R_VZz8IkF-Q)



※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断りいたします。  
問合せ先:一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム  
事務局:info@plij.or.jp

**2025  
12/18 木  
13:30~15:30**

今回のセミナーの会場参加者は昭和学院秀英中学校・高等学校の生徒さんになります。他校の生徒さん教員はZoomウェビナーで視聴ください。

主催 一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

協力 昭和学院秀英中学校・高等学校

## プロフィール

### 神戸大学 西野 孝

現職:神戸大学名誉教授/客員教授、九州大学、広島大学客員教授  
高分子学会会長、元日本接着学会会長  
1984年 神戸大学工学研究科修士課程修了  
1987年 農学研究科修士課程修了、同年 三菱化成工業入社  
2001年 農学博士取得  
2010年 三菱化学フーズ 取締役  
2017年 三菱ケミカル 理事役  
2019年 三菱ケミカル 執行役員  
2024年 三菱ケミカルグループ 執行役  
シニアバイスプレジデント CTO  
2025年より現職

### 三菱ケミカル 葛城 俊哉

現職:取締役・常務執行役員  
CTO(Chief Technology Officer)  
1987年 農学研究科修士課程修了、同年 三菱化成工業入社  
2001年 農学博士取得  
2010年 三菱化学フーズ 取締役  
2017年 三菱ケミカル 理事役  
2019年 三菱ケミカル 執行役員  
2024年 三菱ケミカルグループ 執行役  
シニアバイスプレジデント CTO  
2025年より現職

### 住友化学 福田加奈子

現職:常務執行役員(サステナビリティ推進部担当  
サステナビリティ推進部長)  
1988年 理学部化学科卒業、同年 住友化学工業(現住友化学)入社  
(研究所)  
2003年 化成品事業部 主席部員  
2013年 CSR推進室長  
2020年 住友化学執行役員  
住友化学ヨーロッパ副社長  
2021年 住友化学 執行役員  
住友化学ヨーロッパ社長  
2024年より現職

### 住友化学 喜多悠二

現職:ICT & モビリティソリューション研究所 知的財産グループ(兼)コアマテリアル合成グループ所属  
2016年 工学研究科修士課程修了  
2019年 工学研究科博士課程修了  
同年 住友化学入社  
情報電子化学品研究所  
フォトレジストグループ配属  
2023年 情報電子化学品研究所  
コアマテリアル合成グループ  
2024年より現職

### 三菱ケミカル 松浦 傳史

現職:アドバンストソリューションズビジネスグループ 技術戦略本部 ウエルネス技術部 フード&ヘルスケアGr長  
1999年 農学研究科修士課程修了  
2007年 三菱化学フーズ入社  
2016年 三菱化学フーズ 研究開発センター グループマネジャー  
2024年 三菱ケミカル スペシャリティマテリアルズビジネスグループ アドバンストソリューションズ統括本部 技術戦略本部 ウエルネス技術部 フード&ヘルスケアGr長  
2025年より現職

### 三菱ケミカル 樹神 弘也

現職:イノベーション所管 Science & Innovation Center 分析物性研究所長、Materials Design Lab.所長  
1994年 工学研究科博士課程修了  
1997年 三菱化成入社  
2011年 三菱化学科学技術研究センター 基盤技術研究所 グループリーダー  
2017年 三菱ケミカル 横浜研究所 材料設計研究室長  
2019年 三菱ケミカル Science & Innovation Center Materials Design Lab.所長  
2024年より現職

### 住友化学株式会社

住友化学株式会社は、1913年、別子銅山で銅の製錬の際に生じる排ガスの煙害を解決するため、その原因である亜硫酸ガスから肥料を製造することを目的に設立されました。

現在、農業関連、ICT関連、先端医療関連、環境負荷低減技術など幅広い分野にわたり、産業や人々の暮らしを支えるソリューションをグローバルに提供しています。

住友化学は今後も、資源、エネルギー、食糧、環境など国際社会が抱える課題を解決すべく、これまで培った技術を生かして貢献する「Innovative Solution Provider」を目指してまいります。

### 三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社は、環境・社会・人の「心地よさ=KAITEKI」の実現を目指す、日本を代表する総合化学メーカーです。

環境配慮型モビリティ、半導体や通信、食の品質保持、医療分野で使用される高機能素材などの重点事業領域を展開し、革新的かつ多様なケミカルソリューションで社会課題の解決に貢献しています。また、様々なパートナーとも連携しながら、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルにも積極的に取り組んでいます。

2035年に向けて発表した「KAITEKI Vision 35」に基づき、社会課題解決に貢献するグリーンスペシャリティ企業を目指しています。

### 昭和学院秀英中学校・高等学校

昭和学院秀英中学校・高等学校は千葉市の幕張新都心にある中高一貫校で、生徒数は中学生が520名、高校生が815名の男女共学の学校です。教育目標として、「自律した自己であること」「次世代に必要な能力をもつこと」「多様性を尊重すること」、この3つを備えた人間の育成を掲げ、教育実践を行っています。

数学的素養や理系の基礎知識は文系や理系の枠を超えた教養として身につけさせるカリキュラムを設定とともに、高校2年生では理科と数学で理数探究授業を展開しています。また「秀英アカデミア」において、探究的な学びの面白さを知り、自ら学びに向かう経験を重視しています。「未来を創る」生徒を応援します。



参加申込

# 研究成果発表型

# 「Q-1」

未来・世界を変える“探究（QUEST）”に取り組むU-18たちが、  
その探究の中で見つけた課題に対して、自ら“問い合わせ（QUESTION）”を立てて考え、  
“9”分間のプレゼンテーションにまとめて発表する大会＆番組です。



**Q-1**

**Q-1**

**Q-1**

**U-18が未来を変える☆  
研究発表 SHOW  
2025年大会**

**2026年  
エントリー募集開始**

あなたの  
探究をお待ち  
しています！

エントリー期間 2026年2月28日(土) 24時まで

by 朝日放送

# 世界は Questでしか 変わらない—

エントリー締め切り：2026年2月28日

あすをきょうより楽めらしく。  
SDGs・77ミライ ABC TV

【後援】

- 文部科学省
- 経済産業省
- 大阪大学

探究に青春を捧げる君たちへー

知の甲子園が開幕する。

「知りたい」ただそれだけでいい。

「探究心」で頂点を

目指してみないか？

優勝者に  
文部科学大臣賞  
授与



～U-18が未来を変える★研究発表SHOW～

# 第13回

# ナレッジ イノベーション アワード

あなたのイノベーションが世界を変える！

ナレッジキャピタル参画者による  
イノベーティブな活動と、  
全国の中高生からの自由な発想を表彰  
それぞれの視点から描かれる新たな可能性が、  
社会や日常を変えるきっかけに。



# Let's Award It!

ナレッジイノベーションアワードに参加しよう！

エントリー締め切り：2026年1月13日

中学生アイデア部門

未来の仕事  
を考える

高校生アイデア部門

未来の“私の”仕事  
を考える

ナレッジキャピタル部門

schedule

応募期間・審査期間

中高生  
アイデア  
部門

7月9日(水) 募集開始

1月13日(火)  
応募締切

2月上旬  
書類審査

ナレッジ  
キャピタル  
部門

9月1日(月) 募集開始

11月30日(日)  
応募締切

12月下旬  
1次審査

1月上旬  
2次審査

公開パフォーマンス・最終審査会

3月上旬  
ノミネート者発表

3月20日（金・祝）  
公開パフォーマンス  
最終審査会

3月下旬  
順位速報発表

4月下旬  
アーカイブ動画公開



web サイト



応募サイト



# 日本薬学会第146年会 高校生サイエンスフェスタ

The 146th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan



日 程

2026年3月28日(土)

会 場

関西大学 千里山キャンパス

主 催

日本薬学会第146年会組織委員会

組織委員長 小比賀 聰 (大阪大学大学院薬学研究科)

大阪大学 × 関西大学

THE UNIVERSITY OF OSAKA



運営事務局

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 2-14-14  
新大阪グランドビル 6F 株式会社エー・イー企画内  
TEL : 06-6350-7163 FAX : 06-6350-7164  
E-mail : pharm146@aeplan.co.jp

<https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/pharm146/content/highschool>

高校生参加費無料

①高校生による研究発表  
(ポスター、口頭の両形式を予定)

優秀発表には賞を授与

②講演会「薬学への誘い」  
(創薬、医療、研究、行政の現場から高校生へ)

参加申込など詳細は  
下記のサイトにてご案内します

□



日時：2026年3月28日 (土)

★薬学・化学・生物・環境など、  
理系分野に興味のある高校生なら  
誰でも発表OK！

★発表テーマは自由！  
あなたの「気づき」や「疑問」から  
始まった研究を発表してみませんか？



発表申込：～2026年11月21日 (金) 14:00

参加申込：～2026年

3月4日 (水) 正午

# 「待兼山会議」で成果発表

阪大学生団体  **Flagship** 主催

## ＜会議のテーマ＞

「2030年を達成の年限とする持続的な開発目標（**SDGs**）の実現  
とその後の社会を見据えた、**国際的な問題の分析とその解決策**」



開催：2026年3月26-27日  
参加申込：2026年1月7日

## ＜これまでの発表例＞

- ・自閉スペクトラム症の早期発見
- ・日本の大手テーマパークにおけるマイノリティの尊重—WDW・USH のサービスと比較して—
- ・日本の難民認定制度における現状と課題 —海外事例との比較による検討—
- ・人々の絶滅危惧種への関心を深める方法
- ・食品ロスによってもたらされる問題及びその解決策
- ・デジタル社会におけるアナログの価値の考察
- ・ヒートアイランドと屋上緑化 —都市の未来を支える環境革命—
- ・人間の活動によるサンゴへの影響
- ・花粉で溢れる春を穏やかにしよう
- ・避難所で L G B T Q + が抱える課題解消のための地域でつくる避難所運営訓練
- ・サンゴ礁の保全と長崎の経済発展を志向したグローカルな商品開発について

**Q-1 best16への出場権？**

来年度も含めると・・・

「日本学生科学賞」

「高校生・高専生 科学技術チャレンジ」

「サイエンスキャッスルワールド」

「JSTサイエンス・カンファレンス」